

三雲・井原遺跡(糸島市)

ここは三雲地区の東観音堂/傍に説明板がある/背後の木々の所には築山古墳が所在する



魏志倭人伝に記される「伊都国」の中心的拠点集落と云う/博物館とあるのは伊都国歴史博物館

三雲・井原遺跡 -伊都国の王都-

糸島市三雲・井原地内

三雲・井原遺跡は、中国の歴史書『魏志』倭人伝に記された弥生時代の国のひとつである「伊都国」の王都とされる遺跡です。遺跡の面積は、瑞梅寺川と川原川に挟まれた約60haの三角地(右図の緑色およびオレンジ色の部分)で、その規模は弥生時代において国内最大級を誇ります。

遺跡の発見は、江戸時代の三雲南小路遺跡、井原樋溝遺跡の両王墓の発見にさかのぼります。本格的な発掘調査は1974年に開始され、今日までに100か所を超えるトレンチ調査が行われました。調査の結果、遺跡中央部に広がる大集落と、その南～北部には集落を囲むような形で、甕棺墓や石棺墓などの墓域が展開し、集落と墓域の間は数条の大溝によって区分されるなど、しだいに王都の姿が浮かび上がってきました。

王都としての特徴は、広大な面積のほかに集落域から豊富に出土した外来系遺物にみられます。仲田地区や番上地区から出土した中国産の辰砂や中近東原産のファイアンス玉(写真1)、朝鮮半島系の楽浪土器は中国、朝鮮半島との交流で繁栄した「伊都国」の証といえます。また、ヤリミノ地区からは大量のガラス製装身具や銅鏡などが出土しており、王に次ぐ有力者の墓と考えられています(写真2)。

糸島地方を代表する貴重な文化遺産です。みんなで大切に保存しましょう。

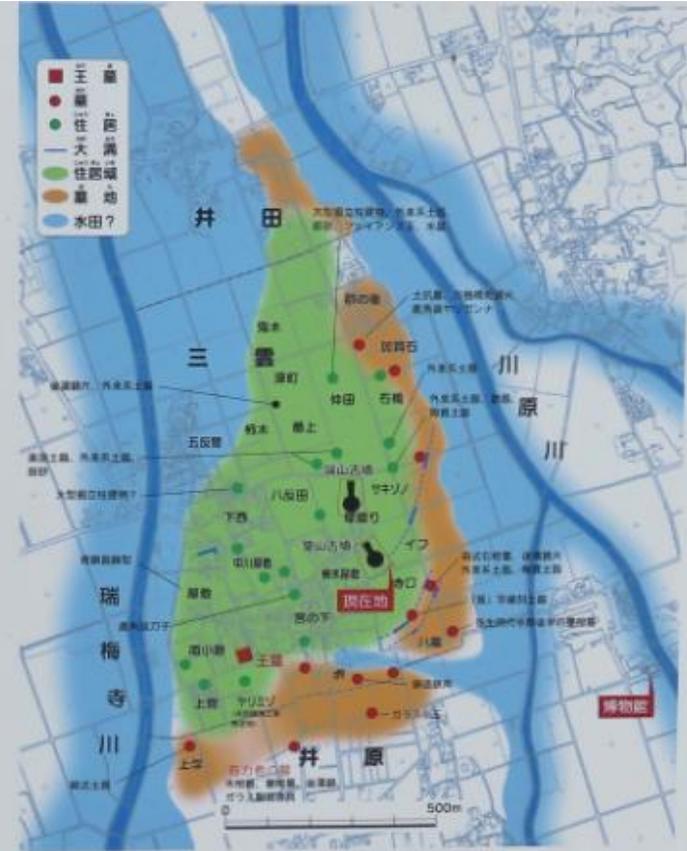
糸島市教育委員会

Mikumo-Iwara site -ITO Kingdom-

The Mikumo-Iwara site is south of Itoshima city, Fukuoka Prefecture. This Yayoi period site was named [ITO-Kingdom] as described in the Chinese Chronicle, Wei Zhi. It's located between two river, and the area is about 60 hectares, one of the largest scale in Yayoi period.

The result of the excavations, in the center there was the main settlement area, and in east to south there was the main burial area. Between the two area, several moat were invented to divide the settlement to burial area.

Many relics brought over from China and Korean peninsula have been excavated, and that the origins of some of there items extends past China to west Asia.



三雲・井原遺跡全体図



写真1 ファイアンス玉 (仲田地区)



写真2 銅鏡とガラス製装身具 (ヤリミノ地区)

三雲・井原遺跡 —伊都国の王都—

糸島市三雲・井原地内

三雲・井原遺跡は、中国の歴史書『魏志』倭人伝に記された弥生時代の国のひとつである「伊都国」の王都とされる遺跡です。遺跡の面積は、瑞梅寺川と川原川に挟まれた約60haの三角地(右図の緑色およびオレンジ色の部分)で、その規模は弥生時代において国内最大級を誇ります。

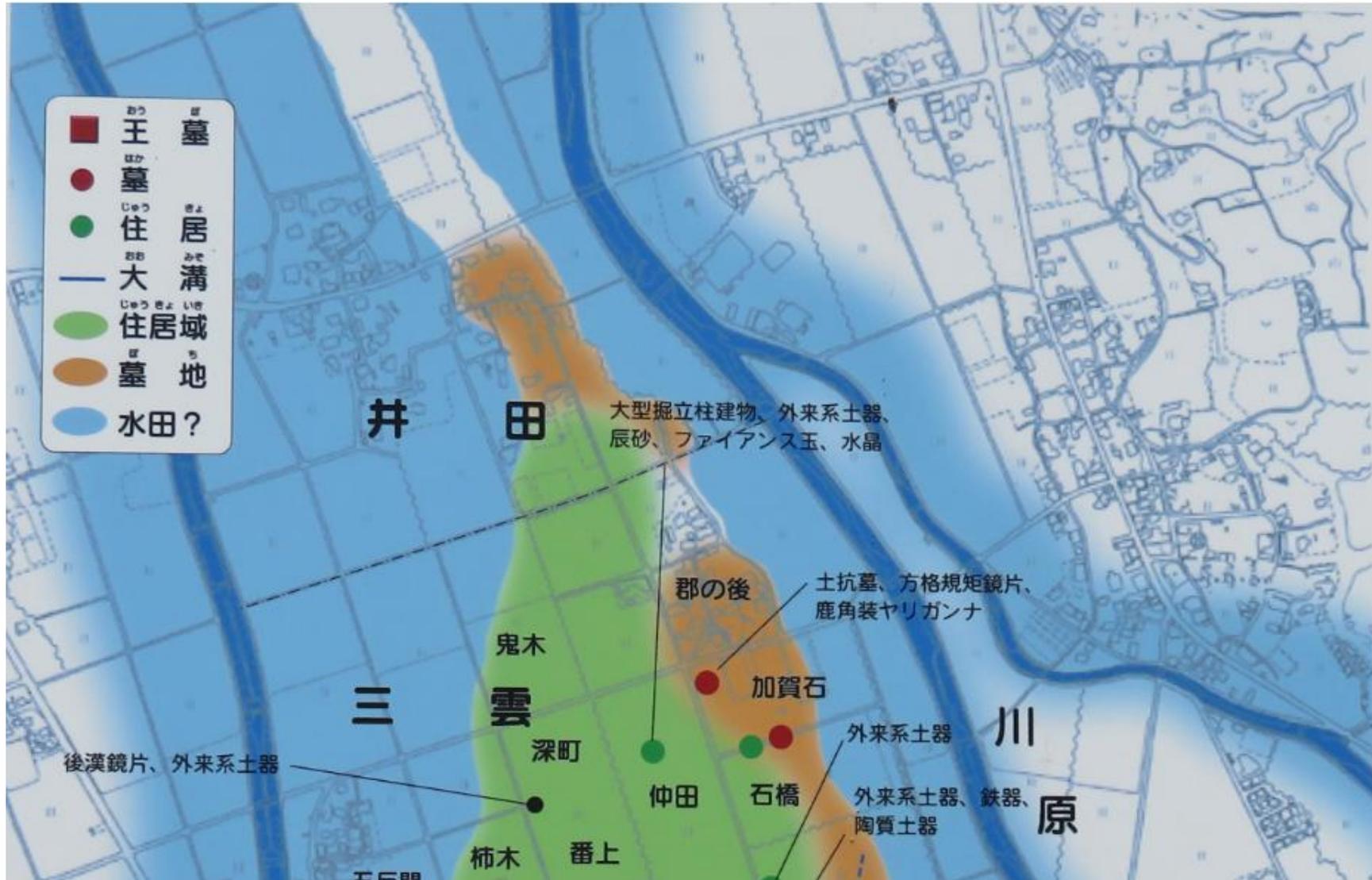
遺跡の発見は、江戸時代の三雲南小路遺跡、井原鍵溝遺跡の両王墓の発見にさかのぼります。本格的な発掘調査は1974年に開始され、今日までに100か所を超えるトレンチ調査が行われました。調査の結果、遺跡中央部に広がる大集落と、その南～北部には集落を囲むような形で、甕棺墓や石棺墓などの墓域が展開し、集落と墓域の間は数条の大溝によって区分されるなど、しだいに王都の姿が浮かび上がってきました。

王都としての特徴は、広大な面積のほかに集落域から豊富に出土した外来系遺物にみられます。仲田地区や番上地区から出土した中国産の辰砂や中近東原産のファイアンス玉(写真1)、朝鮮半島系の楽浪土器は中国、朝鮮半島との交流で繁栄した「伊都国」の証といえます。また、ヤリミゾ地区からは大量のガラス製装身具や銅鏡などが出土しており、王に次ぐ有力者の墓と考えられています(写真2)。

糸島地方を代表する貴重な文化遺産です。みんなで大切に保存しましょう。

糸島市教育委員会

三雲・井原遺跡には伊都国の王の墓とされる三雲南小路遺跡や井原鍵溝遺跡、古墳時代前期の前方後円墳である端山古墳や築山古墳などの重要な遺跡が含まれる/三雲南小路、井原鍵溝遺跡と続く伊都国王の系譜は、平原遺跡1号墓の被葬者に受け継がれる





ここは三雲南小路遺跡/弥生時代中期末(約2,000年前)の伊都国王の墓と云う

国指定史跡 三雲・井原遺跡 南小路地区

三雲南小路遺跡

—国内最大級の弥生王墓—

三雲南小路遺跡は弥生時代中期末(約2000年前)の伊都国王の墓で、墓の範囲は幅3~4m・長さ0.5~0.7mの溝が巡り、東西32m、南北31mの大型区域を囲った国内最大級の弥生王墓です。江戸時代の文政5(1822)年に発見された跡には、墳丘の上に1.5mほどの塚土があったとされ、墳丘の存在が推定されます。

墳丘の中央部には2基の大甕塚があり、甕製鉄剣、土師器土師器土師器、ガラス珠、玉類などの装身具のほか、1号甕塚には35面以上、2号甕塚には22面以上の銅鏡が納められていました。このように数十面の銅鏡を納めとする豪華な甕塚をもち、一定の墓域をもつものは王墓と考え、糸島市にはこのような墓が井原遺跡王墓・早瀬王墓へと続き、「熊野遺人伝」にある「伊都國に世り王あり」との記述も裏付けるものとなっています。

この三雲南小路遺跡を含む三雲・井原遺跡が平成29年10月13日に国史跡に指定されました。大切に保存しましょう。
平成30年3月31日
糸島市教育委員会

"Mikumo Minamisyouji" ruin - one of the largest tomb in the Yayoi period

"Mikumo Minamisyouji" ruin is the tomb of "Itokoku" at the Mid-term end of the Yayoi period (about 2000 years ago). This is one of the largest tomb for king in the Yayoi period surrounded by a rectangular area (32 m east-west and 31 m north-south), separated by a groove of 3 to 4 m width and 0.5 to 0.7 m depth.

When it was discovered in Bunsai 5 (A.D.1822) in the Edo period, there was an embankment (about 1.5 m height) above the jar coffin. So the existence of mounds on the ruin is assumed.

There are two large jar coffins at the center of the tomb, in which there were many burials such as bronze weapons, gilt-bronzed clover-leaf-shaped fittings, glass ball, beads, and so on. Furthermore, bronze mirrors (imported from China) were put in these jar coffins (35 mirrors in the NO.1 jar coffin and 22 mirrors in the NO.2).

It is supposed that tombs with magnificent burials such as many imported bronze mirror and with large tomb area, like "Mikumo Minamisyouji", were made for kings. In Itoshima city, there are other tombs for kings, "Iwara Yurimizo" ruin and "Hirabaru ruin". This is a strong support for the description "There were kings for generations in the Itokoku" in "Gishi-Wajinden"

Ruins in Mikumo and Iwara area, including Mikumo Minamisyouji ruin, were designated as an ational historic site on October 13th, 2017.

Please take it carefully.



三雲南小路遺跡の墳丘と区画



埋葬施設の発掘状況



遠東文清白鏡鏡



有柄中絶鋼剣

2基の大型甕棺が出土した



1号甕棺



ここは築山古墳/4世紀末築造の帆立貝形前方後円墳





築山古墳周濠区画復原図

左手前が前方部、右奥が後円部/後円部墳頂には東観音堂が鎮座する/西側から見たところ



ここは端山古墳/4世紀初め頃築造の前方後円墳

端山古墳 Hayama Tomb

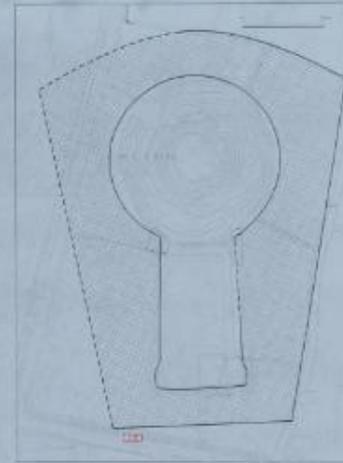
糸島市三雲字塚廻り

中国の歴史書『魏志倭人伝』に記された「伊都国」の中心部に築かれた前方後円墳です。前方部は北を向きますが、破壊されて現在は後円部のみが残っています。

1974年(昭和49年)に行われた調査によって、前方部基部の石列が検出され、先端部が横に突出していたことが確認されました。墳丘の規模は、全長78.5m、後円部の直径約42m・高さ約6m、前方部の長さ約38m・幅約23mです。前方部は二段築成、後円部は三段築成で、斜面には墓石が並べられ、周囲には楕形の周溝が掘ってありました。周溝を含む全長は約99mです。

主体部は未調査ですが、周辺から出土した土器から、この古墳は4世紀はじめ頃に築かれたと考えられ、この古墳の南にある端山古墳よりも先に築かれたと考えられています。また、古い記録には、付近に「茶臼塚」と呼ばれる古墳が存在したことが記されていますが、その位置は確認されていません。

この古墳に葬られたのは、弥生時代の「伊都国」の王に代わってこの地域を支配した、大和政権と深いつながりをもった豪族であったと考えられています。



端山古墳断面図

This tomb, which has a square front and a circular rear, was constructed at the central portions of the Ito kingdom. The front section of the tomb faces the North, however currently only the damaged rear section remains.

The length of the hill upon which the tomb rests is about 78.5 meters, the diameter and height of the rear are about 42 and 6 meters respectively, the length and width of the front are about 38 meters and 23 meters respectively.

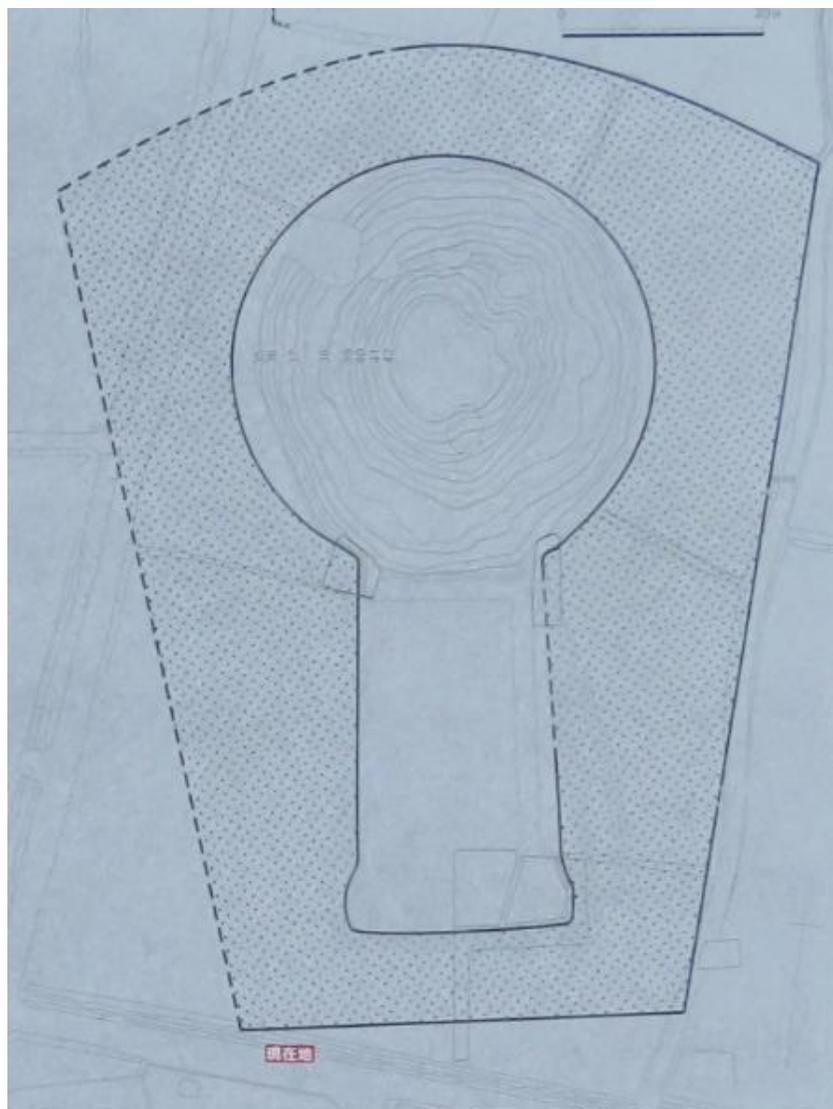
The slope is covered by stones and around the perimeter runs a trench. The total length of the outside perimeter trench is 99 meters.

While the central section has yet to be excavated, according to excavated artifacts from the perimeter, the tomb is believed to have been constructed at the start of the 4th century. However, it is also thought that this tomb was constructed earlier than the Takiyama Tomb, which is located just to the south. Although old records indicate the existence of a tomb named "Usuzuka" nearby, the exact location has yet to be identified.

The remains of the tomb are believed to have been those of a powerful family that had significant ties with the Yamato regime.

The remains of the tomb are believed to have been those of a powerful family that had significant ties with the Yamato regime.

糸島市教育委員会



端山古墳周濠区画復原図

正面に見えるのは後円部で、その手前にあった前方部は削平されてしまっている/北側から見たところ



参考ホームページ

<http://www.city.itoshima.lg.jp/s033/010/020/010/170/20171129102855.html>

<https://www.travel.co.jp/guide/article/27333/>

<http://inoues.net/ruins/mikumoshouji.html>

<http://www.iokikai.or.jp/kodai.itokoku.html>

<http://www001.upp.so-net.ne.jp/wi12000/forGmap/html/mikumo iwara minamisyouzi et yarimizo.html>

<http://mu0960.blog.fc2.com/blog-entry-35.html>

